



今号では認定成年後見人養成研修入門編を受講された方による、受講後の感想をご紹介します。また、第58回全国大会・第22回学術集会（愛媛大会）プレ企画の登壇報告、クローバー登録者に実施した登録者の集いに関するアンケート調査結果についてご報告いたします。

認定成年後見人養成研修（第2回入門編）を受講して

土志田 務／神奈川県支部

2023年9月10日に開催された認定成年後見人養成研修に参加しました。私は精神科病院で18年勤務してきましたが、その中でも多くの患者さんが成年後見制度を利用していました。後見人等の専門家として司法書士、社会福祉士、弁護士、行政書士など様々な方がいらっしゃいました。事前試聴（e-ラーニング）にて学んだ内容として、契約能力の基本、財産管理の視点、身上監護から身上保護への変化、意思決定支援のプロセスとして意思決定能力があると推定される前提があることなど、基本的なことを改めて学ぶことが出来ました。

意思決定能力を構成する①情報の理解②記憶保持③比較検討④意思の表現という4つのポイントは、普段の対人支援の基盤だと思いました。

オンライン研修で全国から参加した方と活発な意見交換をしながら意思決定支援～精神科病院の退院請求～の事例検討がとても有意義でした。今回の研修を通じて精神科病院に入院している患者さんの意思決定を支援するためには、われわれ精神保健福祉士の専門性も大きな役割の一つだと感じました。

成年後見人の養成研修では、財産管理の法的知識や架空事例から分かる実践的なアセスメントを得ることが出来ます。これからの開かれた医療福祉分野を目指すためにも精神保健福祉士が後見人として精神科病院への訪問することも重要な社会的活動だと思います。被後見人を目指す方だけでなく実践的スキルを高めた方も参加出来る研修ですので参加してみてください。

第58回全国大会・第22回学術集会（愛媛大会）登壇報告

安部 裕一（クローバー運営委員／福岡県支部）

11月3日のプレ企画2「意思決定支援～その人らしい生き方と安心を支える成年後見制度～」の講義とシンポジウムのコーディネーターとして登壇しました。11月初旬にもかかわらず秋の気配が全く感じられない快晴の中、プレ企画がスタートしました。私は本企画のキーワードである「権利擁護」「自己決定の尊重」「意思決定支援」についてお話ししました。まずは、障害者の権利に関する条約第12条の「法律の前にひとしく認められる権利」に着目して、本人中心主義による自己決定権の尊重・本人の意思と選好を尊重する意思決定支援・代理代行決定支援のルールを確認しました。更に、日本の成年後見制度の課題とともに「意思決定支援を踏まえた後見事務のガイドライン」を踏まえた意思決定支援のありかたを解説しました。そのうえで、成年後見人に就任した精神保健福祉士が、代理権を行使するには最善の利益による意思決定支援（substitute decision make）をつくる、という従来からのクローバー運営委員会の立場を説明しました。

その後のシンポジウムでは、法人後見を事業化されている一般社団法人沖縄県精神保健福祉士協会の川平哲郎氏ならびに一般社団法人愛媛県精神保健福祉士会の野村智美氏に、法人後見の立ち上げの背景や思い、取り組みについて、また実践から見てきた支援のあり方についてご報告いただきました。

「当事者の自己決定権を尊重する精神保健福祉士による成年後見活動は、当事者の権利を擁護する実践活動である」と再認識する機会となりました。

認定成年後見人ネットワーク「クローバー」

◆登録・受任相談・受任件数

(2023年11月30日現在)

都道府県	登録者数	受任相談 累計	2023年度実績(11月30日現在)			受任件数	受任 調整中	受任不可・ 取下数
			相談件数	家裁から の依頼	中核機関 等依頼			
北海道	5	7	0	0	0	0	0	0
青森県	1	4	0	0	0	0	0	0
岩手県	2	2	0	0	0	0	0	0
宮城県	6	9	0	0	0	0	0	0
秋田県	4	4	1	1	0	0	0	1
山形県	2	13	1	1	0	0	0	1
福島県	3	3	0	0	0	0	0	0
茨城県	0	0	0	0	0	0	0	0
栃木県	8	21	12	12	0	0	9	3
群馬県	2	0	0	0	0	0	0	0
埼玉県	17	33	2	2	0	0	0	2
千葉県	9	7	0	0	0	0	0	0
東京都	47	187	23	15	8	0	7	7
神奈川県	15	35	2	1	1	0	0	2
新潟県	3	4	3	2	1	0	1	0
富山県	0	0	0	0	0	0	0	0
石川県	0	0	0	0	0	0	0	0
福井県	1	0	0	0	0	0	0	0
山梨県	3	5	0	0	0	0	0	0
長野県	4	1	0	0	0	0	0	0
岐阜県	3	3	0	0	0	0	0	0
静岡県	8	19	2	1	1	0	0	2
愛知県	14	14	1	0	1	0	0	1
三重県	0	0	0	0	0	0	0	0
滋賀県	1	0	0	0	0	0	0	0
京都府	4	0	0	0	0	0	0	0
大阪府	7	22	3	0	0	3	3	0
兵庫県	8	0	0	0	0	0	0	0
奈良県	0	0	0	0	0	0	0	0
和歌山県	3	0	0	0	0	0	0	0
鳥取県	1	5	1	1	0	0	0	1
島根県	0	1	0	0	0	0	0	0
岡山県	4	1	0	0	0	0	0	0
広島県	4	5	0	0	0	0	0	0
山口県	2	1	1	0	0	1	1	0
徳島県	2	0	0	0	0	0	0	0
香川県	0	0	0	0	0	0	0	0
愛媛県	3	3	0	0	0	0	0	0
高知県	2	0	0	0	0	0	0	0
福岡県	23	84	13	11	0	2	9	3
佐賀県	1	2	1	1	0	0	0	1
長崎県	5	10	2	2	0	0	1	0
熊本県	7	86	3	3	0	0	0	3
大分県	1	0	0	0	0	0	0	0
宮崎県	1	6	0	0	0	0	0	0
鹿児島県	2	4	0	0	0	0	0	0
沖縄県	11	22	1	1	0	0	1	0
例外対応	0	2	0	0	0	0	0	0
合計	249	625	72	54	12	6	32	18

※「受任不可・取下数」とは、候補者不在または依頼先からの取下げのあった件数

◆活動状況

(2023年9月1日～2023年11月30日)

- 9/27 クローバー筑後地区登録者との打ち合わせ
- 9/30 第3回神奈川県クローバー登録者の集い
- 10/3 第5回とちぎのクローバー・クローバー連絡会議
- 10/5 第3回報告様式・相談受付検討小委員会
- 10/12 第3回東京クローバー登録者の集い
- 10/31 第3回都道府県協会移譲・委託検討小委員会
- 11/6 福岡家庭裁判所久留米支部訪問
- 11/7 第2回登録者フォローアップ小委員会
- 11/11 第4回神奈川県クローバー登録者の集い
- 11/22 リーガルサポート神奈川県支部「令和5年度名簿更新者向けセミナー」(講師派遣)
- 11/30 第4回報告様式・相談受付検討小委員会

登録者の集いに関する調査報告

クローバー運営委員会では、現在、一部の都道府県において実施されている「登録者の集い」を各地で開催していく必要があると考えています。そこで、より効果的に集いが開催され、登録者の皆さまに活用されるための集いのあり方を検討するために、登録者を対象にした「登録者の集いに関するアンケート調査」を実施いたしました。アンケートにご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

調査結果についてはクローバー登録者MLとクローバー専用ウェブサイトの活動報告(2023/08/30)にてご報告していますので、ぜひご覧ください。

主な結果は以下の通りです。

1. 回答数(回収率) 115 (47.0%)

2. 回答結果の概要

- ・「登録者の集い」の認知度については7割が「知っている」と回答。活動地域以外の地域の集いにも参加できることは半数以上の人が「知っている」と回答。

- ・参加経験：6割が「なし」と回答。

- ・地域での開催希望では「開催したい」との回答が5割で、開催形式の希望はハイブリッド含めWEBでの開催を希望する意見が8割近くを占めた。

- ・参加意向については、「参加希望」が9割を超える結果となった。

今回の結果から、認知度や参加希望が高い一方で参加経験者が少ないことがわかりました。また、地元での開催希望が参加希望に比べて少なく、WEB開催の一般化もあるのか、地域ごとの情報交換会という登録者の集い自体の持つ意味合いが変わりつつある実態も感じられました。

登録者のフォローアップ体制を強化していくことができるよう、今回のアンケート結果を今後の委員会活動へ活かしていきたいと思っております。

山口 雅弘(クローバー運営委員/静岡県支部)

編集後記

「登録者の集い」でおよそ半数の登録者から回答を得ることができ、関心度の高さも伺えました。しかし恥ずかしながら、私自身はまだ実際に参加したことがありません。予定とのタイミングが合わずに見送ってきてしまいましたが、改めて参加させていただく必要性を感じた今日この頃です。『zoom』で繋げば、全国のみなさんと繋がるオンラインの魅力。まだ参加されたことのない方は是非一緒に！

(岡田 昌大)